

YouTube を開設しました

一昨日から YouTube を新規に開設しました。おかげさまで視聴回数、チャンネル登録数ともに好調です。これまでは文書での発表をしてきましたが動画による発信も並行させていきます。画像と音声による伝達も面白いなど改めて思いました。昨日まで三日間、慶應義塾大(院)出の好青年で体育会系の知人が当院に臨時のボランティア兼アルバイトとして泊まりで働いてくれました。圧倒的な企画と提案でもって当院を三か月先へと進めてくれた印象です。仕事の質、量、スピード感とこれぞエネルギッシュな若い力というところを見せつけてくれました。どうしても中高年ですと何某かの難や癖は必ずと言ってよいほどあります。その点は若年層には魅力があります。これからの新進気鋭なる若人に向けての求人のための動画もこれから公開します。是非ともご覧ください。そこで景気付けによいスタートを切れるようにとテコ入れをして欲しいと懇願しましたが期待通りの仕事をして帰りました。今回の YouTube の仕掛け人は彼の裁量によるものです。やはり SNS に通じた時代感覚のある有能なスタッフは必要と思いました。宣伝広告費をかけないで如何に限られた資源の中で最大の効果を発揮できるかをプレゼンしてくれました。これで一気に加速してエンジン全開となるかもしれません。佐藤誠伸さんもバリバリの僧侶で何でもこなす近年稀に見る傑僧です。あとはシステムエンジニアやデザイナーとかいると面白くなるかと思います。私の代わりができる料理人も欲しいところです。永平寺とかで精進料理を極めた人がいましたらお待ちしております。今後は料

理をしているところや修行風景、定期的法話の機会に撮影をしていきます。高僧らとの対談も企画しております。因みに今日はミャンマーの僧侶との対談と会食を予定しております。来週は台湾から著名な高僧が来山されます。撮影も行うつもりです。外交日程は目白押しです。いずれはこちらも東南アジアの仏教国を順次 巡拝していきたいと思っております。また僧侶が自ら遺体搬送をしたり納棺をする様子も公開していく予定です。昨夜も深夜に遺体搬送業務が入りました。取り急ぎ自宅安置です。これからの葬儀の一例として自宅で納棺して火葬場へ行く。そのあと遺骨を本堂に移して一日葬儀。終わって墓地で納骨という日程がよいように思います。またはお寺に安置して納棺後に本堂にて葬儀、終わって火葬式中内食もお勧めです。すべて僧侶が行うようにする。本堂では生花も供物もすでにあるためそれを使う。余計なことはしない。一日ですべてを済ませて必要経費だけの実費で遺族と寺院だけで行う簡素な葬儀をお勧めします。司会進行も僧侶で死亡届出は遺族がすることが適切です。そうすれば必要最小限の労力と経費だけです。現在そのための動画も作製中です。ほぼ収録は済ませています。食事は火葬中にコンビニのおにぎりとお茶でよいかと。お返しの心配ありません。当院では霊柩寝台車を保有しておりますのですべてお寺にあるもので間に合います。特に購入してもらう物などなくせいぜい棺おけと骨箱だけです。当院は必要最低限の付き合いしかしていないために交際費もかかりません。そのためみなさんから集金することはありません。もともと経済的な寺院運営に切り替えることに成功しました。一方で支援者は多いために自前ですべて普請も修繕も行えるようにしました。また当院は霊園も

自前で経営しており基本的には自分たちで納骨もします。先祖教が廃れていく中で新しい日本の仏教を醸成できたところが生き残ります。宗派から自派への時代に移行していくものと考えられます。檀家制度は当然のように崩壊しますが本末制度 本山制度も保たなくなります。各地でグループによる結束も出てくることは予想されます。葬儀、法事の布施に頼らない収入がどれくらいの割合まで増やせるかが鍵になります。寺院の収入は減少の一途でも固定費はまったく減らせないのが現状です。むしろ物価の上昇 光熱費の高騰 宗費の増額により寺院経済圏は限界です。今をときめくユーチューバーの僧侶と言えば大愚和尚、小池陽人さん 横田南嶺さんかと思います。大愚和尚さんは曹洞宗からは離脱しております。小池さんの須磨寺は単立的本山です。横田南嶺さんは言わずと知れた円覚寺の管長様です。三人の共通項は強いて言えば群れていないことのように思います。くわしくはわかりかねますが。それぞれに孤高的で清々しく思います。私も及ばずながら遅ればせながらも見習いたいと思いました。先をゆく三師を追いかけていけるように精進して参りたいと思います。

合掌

令和5年4月19日

見性院住職